

第 1 号議案

令和 6 年度事業計画並びに収支予算について

令和 6 年度事業計画

I. 事業方針

主食用米や飼料用米多収品種の需給状況、種子生産者の経営実態（肥料・農薬等の高騰、国の交付金制度等）を十分に踏まえ、主要農作物優良種子の安定生産及び安定供給の確保を図るとともに、種子生産者の経営安定に努めます。

また、優良種子生産技術の伝承懸念、施設の老朽化等を踏まえ、県内種子産地が将来にわたって維持・発展していくための課題の整理、具体的対応策の検討を進めます。

II. 実施事業

1. 優良種子の安定生産と供給

主要農作物振興の基盤となる優良種子の安定生産・安定供給を図るため、計画的な種子生産や生産指導と品質向上、種子の供給、品質管理、種子生産体制の強化、などを実施します。

(1) 種子生産計画

事前予約された需要数量を基本に、流通動向、新品種の振興計画、備蓄数量などを勘案して県・関係機関と協議の上、「種子生産計画」を策定し、種子の生産にあたります。

※令和 6 年産種子生産計画：別表 1

〈主な事業〉

- ・ 種子生産計画の策定
- ・ 作付品種の許諾契約締結
- ・ 種子生産者と採種ほ場面積の確保
- ・ 他県との連携による種子生産の受委託



(2) 飼料用米多収品種の種子確保

飼料用米多収品種の需要動向を把握し、過不足のない適正規模の生産確保に努めます。

〈主な事業〉

- ・ 関係機関との連携による種子生産の指導
- ・ 品質向上対策の実施（品種切替圃場への漏生対策支援等）
- ・ 7年産種子の需要に応じた生産計画の策定

(3) 生育状況の確認

ほ場確認等へ参加し、種子生産ほ場での生育状況を確認し必要な対策を助言指導するとともに生産見込数量の的確な把握に努める。

〈主な事業〉

- ・ ほ場確認会、生産物確認会
- ・ 下見指導会、農産物検査の立会・確認

(4) 混種事故防止

あらゆる機会、方法を通じコンタミ事故を絶対に起こさないための指導徹底に取り組みます。

〈主な事業〉

- ・ 種子GAPの実践促進や異品種混入防止チェックシートの配付
- ・ 種子生産者の1品種作付け推進
- ・ 原種消毒および原種専用ネット使用の指導
- ・ 収穫等機械の共同利用の促進

(5) 種子品質の確認・管理

種子検査見本品の作製・配付や調製程度確認会を開催するとともに産地における発芽試験結果の確認、備蓄種子の発芽試験等を行います。

また、稲種子のDNA分析を実施して混種事故を未然防止します。

〈主な事業〉

- ・ 種子検査見本品の作製・配付と調製程度確認会の開催・稲種子DNA分析・調査の実施
- ・ 備蓄種子の発芽試験の実施

(6) 受検対策

受検対策会議を開催し、事前指導事項の徹底を図り、栃木米品質の高位平準化と円滑な受検の実施を図ります。

- ・米受検対策会議の開催
- ・受検指導資料の作成配付

(7) 種子の需給調整

需要に応じた優良種子の安定供給を図るため、関係機関・団体とともに種子の需要動向を把握し「種子需給計画」を策定するとともに、不測の事態等に備え計画的に種子の備蓄(低温保管)を行います。

〈主な事業〉

- ・種子需給計画の策定
- ・計画的な種子の備蓄（回転備蓄）
- ・種子消毒の実施（備蓄種子の消毒含む）
- ・残量処理の実施（発生に応じた処理と需要生産者の費用負担）

※残量処理財源は、稲・麦類・大豆の種子販売価格に 10 円/kg を加算します。

- ・事故処理の実施（発生に応じた処理と種子生産者の費用負担）

※事故処理に備えて種子生産者から 1 円/kg を預かります。（事故がなければ返金）

(8) 種子生産技術の向上

各種研修会の開催、種子伝染性病害防除等への助成を行い、種子生産技術及び品質の向上を図ります。

〈主な事業〉

- ・種子品質向上研修会や種子生産研修会の開催、栽培講習会への参加
- ・種子伝染性病害防除、品種転換圃場の漏生対策（除草剤）への助成
- ・GAP シートの配布

(9) 消費者・実需者から選ばれる主要農作物の生産（一般栽培）

主要農作物の品質向上に向け、栽培技術指導及び品質改善指導資料を作成し生産者に配付します。

また、安全・安心な高品質・良食味の農産物を生産するため、地域の生産者を対象に地方農業振興協議会が実施する各種講習会に助成します。

(10) 広報活動

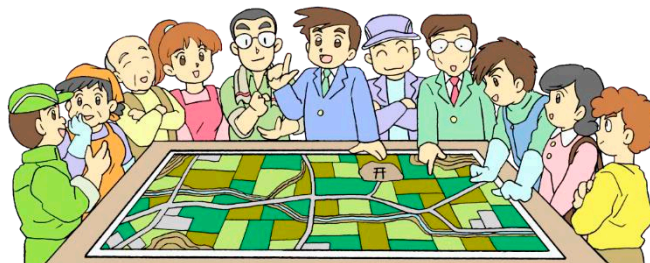
協会情報紙「とちぎ 米麦改良」を発刊・配付するとともに当協会ホームページにて生産者や関心のある一般消費者向けに生産技術等各種情報を提供します。

2. 種子生産体制の強化

稲麦大豆の優良な種子が将来にわたって安定供給されるよう種子生産者や種子場 JA、種子センター等の現状と課題を踏まえた種子生産体制強化に取り組ま
す。

〈検討事項〉

- ・ 優良種子生産体制&技術の次世代継承策（事例調査等）
- ・ 種子買い上げ価格のあり方
- ・ 種子センターの維持強化（計画的修繕と財源確保、職員の負担軽減）
- ・ 将来的な種子産地のあり方



Ⅲ. 令和6年度主な事業活動予定

別表 2

別表1 令和6(2024)年産主要農作物種子生産計画

種類	品種名	計画面積 (ha)	計画数量(A) (t)	5年産生産計画 数量(B) (t)	前年産比 (A)/(B)	売上見込額 (税別・百万円)	注1
主食米	コシヒカリ	208	832	888	94%	293	
	あさひの夢	47	205	146	141%	72	
	なすひかり	10	41	43	95%	14	
	とちぎの星	99	435	280	156%	153	
	夢ささら	0	1	1	100%	0	
	きぬはなもち	4	14	14	100%	5	
	小計	368	1,529	1,372	111%	538	
飼料米	夢あおば	0	0	372	0%	0	
	月の光	18	77	150	51%	28	
	小計	18	77	522	15%	28	
稲 計		386	1,606	1,894	85%	567	
六条大麦	シュンライ	50	117	110	106%	34	注2
二条大麦	ニューサチホ・ゴールドン	213	692	692	100%	189	
	とちのいぶき	5	18	18	100%	5	
	小計	218	710	710	100%	194	
小麦	さとのそら	15	55	55	100%	15	
	イワイノダイチ	11	35	35	100%	10	
	タマイズミ	17	55	51	106%	15	
	ゆめかおり	11	27	29	92%	10	
	小計	53	171	170	101%	51	
麦類 計		321	999	991	101%	279	
大豆	里のほほえみ	—	—	68	—	—	注3
合 計		706	2,604	2,952	88%	845	

注1) 売上金額は、生産計画数量に種子生産者価格を乗じた。

注2) シュンライは、上記の外数として8tを県外に生産委託し、令和6年産で125tを確保します。

注3) 大豆種子の生産数量は4月以降に決定します。

有機水稻	コシヒカリ	1.3	1.7	1.7	100%	—
------	-------	-----	-----	-----	------	---

別表2 令和6(2024)年度主な事業活動予定

実施事業	事業活動の展開											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
種子取扱会議	○											
種子センター担当者会議		○										
種子生産体制検討会				→★					→★			→
種子生産体制事例調査			→★		→★							→
種子生産研修会												
採種ほ設置計画会議					○麦				○稲			○大豆
調製程度確認会			○麦						○大豆			
受検対策会議				○								
ほ場確認会	○麦		→	○稲	→	○大豆		→				
生産物確認会・検査・下見会			○麦	→			○稲	→	○大豆		→	
混種事故防止対策	○											→
発芽調査			○麦	→			○稲	→	○大豆			
備蓄種子残量処理										○	→	○
事故処理												
技術指導資料作成配布												
助成金・交付金						○	→			○	→	○
「とちぎ麦改良」の発行		○				○			○			
協会ホームページ												→
総会			○									○
理事会			○					○				○
幹事・事務局員会議		○						○			○	

★新規実施事業